

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年7月1日 (2010.7.1)

【公開番号】特開2009-184950(P2009-184950A)
 【公開日】平成21年8月20日 (2009.8.20)
 【年通号数】公開・登録公報2009-033
 【出願番号】特願2008-25594(P2008-25594)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 51/31 (2006.01)

C 0 7 C 55/14 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 51/31

C 0 7 C 55/14

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】
 【提出日】平成22年4月22日 (2010.4.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 1 5 】

本発明の製造方法では、トリフルオロ酢酸の存在下、脂肪族環状炭化水素化合物を過マンガン酸塩と、亜硝酸塩または硝酸塩で酸化して脂肪族ジカルボン酸化合物を製造する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 3 0 】

本発明は、常圧、減圧、加圧のいずれの状態でも実施可能である。また、本発明は、酸素、大気等の酸素存在下だけでなく、窒素、アルゴン、二酸化炭素等の不活性気体存在下でも実施可能である。中でも、酸素存在下の方が亜硝酸塩もしくは硝酸塩の使用量が低減でき、反応時間も短縮できる傾向にあるため、通常は大気或いは酸素雰囲気下で実施するのが一般的である。